

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2015
秋

9月1日発行(季刊)



夢のサーカス・フェスティバルが始まる！

高松の仏生山に開設されたサーカス図書館（写真）を拠点に始まった瀬戸内サーカス・ファクトリーは、10月に「瀬戸ラ・ピスト」と銘打ったサーカス・フェスティバルを準備している。タイトルは「NAIMONO」。代表の田中美智子さんが、フランスと高松を往復しながら現代サーカスの伝導活動を始めて5年目の夢がいよいよ実現する。（4頁に関連記事）

あ・うんの数寄講座 茶の湯をさらに楽しむ夏期講習
ここから生まれる現代サーカス
9月から11月までの茶華道・イベント情報
北村美術館茶会のご案内 他

87

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

あ・うんの数寄講座

茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

茶の湯の文化を切り口に、日本の伝統美とその心を語り合い、理解を深めたいと「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」を企画いたしました。猛暑をモノとせず、毎週ご参加下さった皆様は、さすがに真剣。寺子屋形式の少人数の講演会をご理解いただき一日に二回もお話して下さった講師の皆様にも、感謝申し上げます。今回は全五回シリーズの前半三回の講演を中間報告させていただきます。

■第一回 八月二日(日) 「茶碗の楽しみ方について」

講師・赤沼 多佳
(三井記念美術館 参事)

世界的な猛暑記録の続く八月二日(日)、第一回「茶碗の楽しみ方について」と題して、三井記念美術館参事の赤沼多佳先生をお迎えしました。会場は、畳廊下との寶戸を取り払っていつそう広くなった財団の茶室広間。いつもなら軸を掛け季節の花を生ける床の間にスライド用の白いスクリーン布を吊したので、傍の琵琶床に涼しげな花籠とせみの詞梨勒をしつらって、夏さかりの会場風景が出来上がりました。

聴講生は徳島や高知など県外からのお客様を含めて、茶道教授の先生方や茶道具に造詣の深い数寄者、窯を築いて活躍中の陶芸家、茶の湯を歴史の一頁と捉える読書家など、お馴染みのお顔も多く、開講時間よりいぶん早いお出ましに驚かされたと受付の感想もあり、みなさんの期待の大きさが伝わってきます。時間が来て赤沼先生のご紹介(林屋晴



員、調査員、茶道資料館勤務を経て現在に至る)があり、「茶道具の中でも茶碗は、同座の亭主と客の間を行ったり来たりする身近さから特に人々に親しまれて

きましたと、先生のとても静かな語り口での解説で、数々の名碗がスクリーンに映し出されていきました。

中国から入ってきた唐物茶碗が日本の和物になっていく過程を時間系列に、室町時代の君台観左右帳記に無上也と最上評価されて「唐物茶碗」の王道をゆく天目をはじめとする青磁、白磁、
「嶋物茶碗」の安南、侏茶に重用される井戸や呉器、熊川茶碗など、また、日本向けの御所丸、伊羅保、三島、御本、半使茶碗の「高麗茶碗(見立ての茶碗)」と順次続いていきます。これまでにいろいろな展覧会場で目を見張った国宝や重文級の茶碗の映像を交えた話は、何となく聞き慣れたような、それでいて理解の及ぶ奥の深い話ばかりです。

やがて「和物茶碗に移り、瀬戸天目、利休の侏びの精神を具現化した楽茶碗、国焼として志野(三井記念美術館のオーブニング展示の白眉・国宝「志野茶碗銘卯花」の写真が大きく映し出された瞬間、あまりにも有名な茶碗の、大胆にヘラ削りされた白い肌、垣根を思わせる鉄絵の線のおおらかさに改めての感嘆が漂いました)や瀬戸、織部に代表される美

濃窯、また、九州諸窯国焼の唐津、高取薩摩、上野茶碗から萩茶碗に及び、俗にいう一楽二萩三唐津や遠州七窯などを連想しながら拝聴が続き、仁清、乾山、清水など幕末の京焼や御庭焼に至ってお話が終わりました。

長い歴史の中で大切に守られてきた美の世界の披歴は、時の権力者の好みや時代のエネルギーを反映して変遷した造形や模様だけでなく、日本人が愛でてきた美の基準を再認識させてくれたひとときでもありました。

二時間があっという間に終わり、緊張と感動が解けた会場に急に庭の蟬の鳴き声が忍び込んできました。その後、立礼席で薄茶を一服差し上げましたが、この席ばかりは、先ほどの感想を語り合う余韻の声が重なって、それは賑やかなものでした。

■第二回 八月八日(土) 「茶杓の見どころと削り方」

講師・池田 瓢阿

(竹楽会 主宰)

お茶と竹の関係から講座は始まり、茶杓の歴史へと話は続く。北宋時代の茶書に茶杓は重いものが良く金・銀・象牙・鉄・竹などで作られていたと記されていたが、鎌倉時代に日本に伝わったのは、主に象牙や竹などの軽い茶杓であったとのこと。

その後、室町時代に茶の湯が広く流行すると、茶杓は、主に竹で作られていて、利休時代に茶杓は茶人によってつくられ、しだいに、次のような一定のルールが生まれたとのこと。

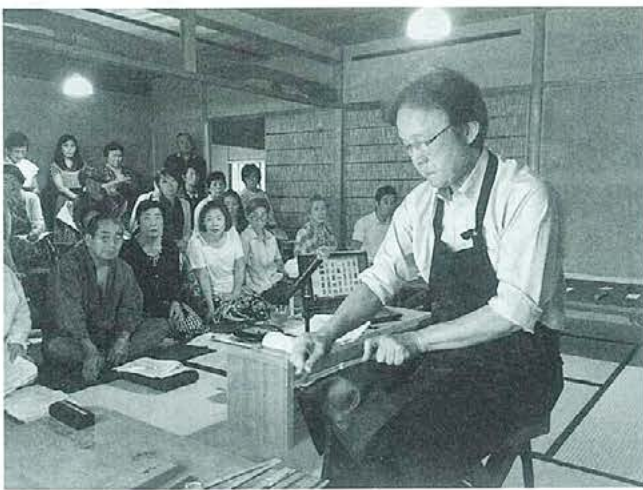
・竹でつくり、お茶を掬える形であること

- ・手のひらほどの長さで、小指から中指くらいの幅であること
- ・軽々と持てる重さであること
- ・竹でつくった筒が添い、筒には茶杓の銘と作者名が記されていること
- ・茶人の名においてつくられていること

軽さの例えとして利休の「なみだ」の茶杓は1.3gで指先から茶杓の先まで一体化となり、掬ったお茶の量が判るほどの軽さにつくられていると話された。何という繊細さ。

そして、何よりも重要なことは、利休以後の筒を伴う茶杓は、基本として人に贈られることを前提としてつくられていること。それは、知人・友人だけでなく親子間でもなされ、茶人同志の交友の歴史が始まった。

茶杓は作った人の個性を反映し、道具として大切に扱われるようになりました。



ここで実際の茶杓の画像をスライド映写で見せていただく。そこからは、贈り主や受け取り主また銘などから時代の流れや秘められた交流などを読み取ることができ、一つの茶道具としてではなく、とても大切な役目を果たしていると思われる。何よりも強く感じたのは、贈られた茶杓・共筒には、作者のアイデンティティーがあり、贈る相手を思いつつ茶人自らが削ることの深い意味があるということでした。

いよいよ茶杓削りの実演を見せていただく。前もって説明していただいた茶杓の部分名称を、頭の中で復唱しながらみせていただく。竹材が水と火で形を整えられていく。ミリ単位の細かい作業がなされていくが、思いつきり良く小刀が動く。決めれば迷わないのか？ 削ることに潔さを感じる。そして、サンドペーパーと小刀の背で仕上げ、黙々と削っている茶人の姿を想像した一瞬でした。

一本の竹の茶杓にもいろいろな歴史や作った人の個性が残る茶の湯の奥深さを感じられる講座となりました。

■第三回 八月十六日(日)

「羽箒について―鳥種と茶人の好み」

講師：下坂 玉起

(羽箒研究家、日本鳥学会・茶の湯文化学会会員)

羽箒(はぼうき)は、茶道具の中でも地味な存在です。現在では、茶事で行われる炭点前の時に、炉や風炉を清める為に使われる道具です。

先生の調査では、茶人の肖像画では手に持っていたり、今でも武家の流れの流派では、向え付けの時に持ち出されたりと、炭道具以外の儀礼的な使われ方もあるようです。

下坂先生は日本野鳥の会に入るのとはほぼ同時にお茶を始められて、炭点前の時に行われる問答で、亭主が「羽はシマフクロウです」と言われてとても驚かれたそうです。北海道に生息する絶滅危惧種です。北海道に生息する絶滅危惧種です。しかし、他の方は誰も気にしていませんでした。また、「鶴でございませう」という答えにも驚いたそうです。鶴も多くの種類があり、コウノトリも昔は鶴の一種とされていましたが、茶会では、鳥の正確な種類まで気にする人がほとんどいなくなつたそうですが、先生にとっては、羽箒研究を始める切掛けになった出来事でした。

その後古い羽箒を八百本近く調査され、羽の種類を特定したり、大きさや構造についても調べられました。同時に茶人と羽箒のことも。茶道具として伝わったためか、古い羽が良好な状態で多数現存しているのは世界でも非情に稀なことだそうです。

さて、羽箒の構造は、主に羽を三枚重ねて根元を真竹の皮で巻いた物が使われます。これは千利休が始めたそうですが、羽の重ね方については、いろいろと変遷があつたようです。

羽の長さは、当初は五寸。文献から江戸中期くらいからは、七寸に変化し現在に至っております。鳥の羽を使った道具には、ほかにも掴み羽とか座掃という大型の物や、茶箱や水屋で使う小羽箒などもあります。白鳥の座掃などは茶道具としては、今では貴重品です。

さて、羽の長さが七寸と言うと、鳥の種類でいうとツルとかコウノトリ、ノガン、鷺、ワシミミズク、クジャク、セイルンなどかなり大型の鳥の羽になります。比較的自由に手に入つたのは明治時代辺りの一時期で、江戸時代も保護されていたし、現在では、法律で厳格に保護されている鳥がほとんどなので、流

通している羽箒はわずかに唐国鳥(カラクンチヨウ)と呼ばれる七面鳥やクジャク。稀に鷹の類などです。鳥の羽は、定期的に生え変わるの、飼える鳥であれば、羽が手に入る可能性があります。珍しい鳥の羽は、ほぼ無理なようです。

利休の時代、羽箒に最初に執心した茶人は古田織部だそう。鳥種を黒鶴、白鶴、野雁、コウノトリに限り、羽箒の使い方を細かく規定しました。上田宗箇も羽箒に関する記述を残しています。遠州流では歴代の家元が自作して箱書きしているの、江戸期の古い物が多く残っているそうです。



高松を拠点に世界に発信したいという思いで始まった田中美智子さんの挑戦は、仏生山で新たな仲間を得て、スタートを切りました。フランスの現代サーカスと日本のアーティストや文化との出会いを模索しながら制作の支援を続けて来られました。今年は5年目の節目で、いよいよこの十月に高松初の創作サーカスフェスティバルが開催されます。

ここから生まれる現代サーカス

瀬戸内サーカスファクトリー 代表 田中未知子

「トランク1つで」という言葉がおおげさでなく、香川に降り立つてもうすぐ5年。とにかく現代サーカスを知ってもらうために、たった一人で始めたサーカスのお話会「千一夜」。千一夜話し続けたら、きつと自分のサーカスは現実のものになると信じて。

現代サーカスってなんですか？と訊かれると、なかなか一言では伝えにくいのですが、演劇でもいいし、ダンスでもいい、想像してみてください。彼らの舞台が平面でなく、見上げる空中までが演技空間なら？重力や固定概念から解放され、アーティストたちが「自分たちだけの」世界を、舞台作品として創るサーカス。世界に一つとして同じものではなく、アーティストの個性と同じだけ作品がある、予想は毎回裏切られる、それが現代サーカス。

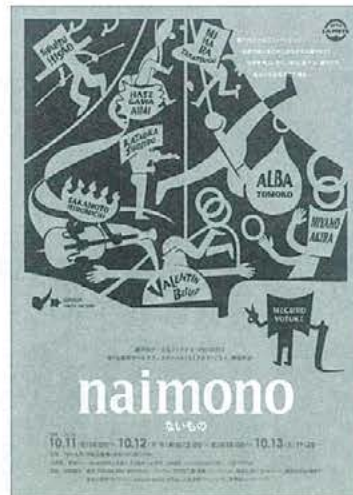
最初は何となくだった活動も、事業を行うごとに仲間が集まり、昨年、一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリーとしてスタートをきりました。文化は地方でつくられる、をモットーに、地域に根差しながら「現代サーカス」という特色ある文化の創造を目指し、活動を続けています。

日本で現代サーカスという分野は、まだ

まだ発展途上。しかし、1970年代にフランスで始まったこの芸術活動は、いまやカナダのシルク・ド・ソレイユをはじめ世界に広まり、発展を続けているのです。

今年の秋、私もはじめての創作サーカスフェスティバル「SETOラ・ピスト」を香川町で開催します。日程は十月十一、十二、十三日、プログラムのメインとなる新作公演「ないもの」は、日仏のサーカスアーティスト、ミュージシャン、役者など8人が高松に滞在して創作する作品で、今回は空中技を多く使う展開になります。2012年にここでん仏生山工場内で行った「100年サーカス」とおなじ、目黒陽介氏の演出で創作します。「サーカスの創作」という概念が理解されにくい日本において、創作に情熱を燃やす、稀有で才能あるアーティストです。

サーカスの「創作」は、多くの方にとって想像のつきにくいものです。練習や創作のためには、体育館のように広い空間、10m近い天井高、丈夫な梁、空中ブランコや綱渡りなどの装置などが必要です。こうした特殊な器具を安全に設置し、扱うために専門技能と経験も重要で（リガーと呼ばれる職業です）、これは日本の舞台芸術の



世界にまだまだ足りておらず、今年、瀬戸内サーカスファクトリーはフランス大使館の支援も得ながら、フランス国立サーカス学校と契約を結び、専門技能習得と器具設置指導を実施するはこびとなりました。今回のフェスティバルは、規模は小さいですが

- ① 滞在制作によるサーカス作品創作
- ② 伝統芸能と現代の出逢い
- ③ サーカス器具設置の技能向上プログラム
- ④ 現代サーカス発展について話し合う公開座談会
- ⑤ 地元アーティストの発表の場「実験劇場」
- ⑥ 現代サーカス・大道芸の歴史と今を伝える展示

など、文化として現代サーカスを育てる仕組みづくりの場です。今後毎年開催し、来年からは海外招聘作品も加え、徐々に内容を充実していければと考えています。

財団行事予定

(九月～十一月)

九月

- ◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生
九月一日(火)午前十一時・午後三時
あ・うんの数寄講座 茶の湯をさらに楽しむ異期講習
九月五日(土)十時三十分・十四時三十分
- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
九月十一日(金)午前十時・十二時
月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
九月十五日(火)午前十時・午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。
- ◆ 九月懸釜 時知らずの茶を楽しむ
日時 九月二十日(日)

- ◆ 処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
濃茶 武者小路千家家元後嗣 千宗屋宗匠
薄茶 武者小路千家家元教授 芳野宗春
茶席 薄茶・点心・濃茶席
会費 二万五千元
ご好評につき、ほぼ満席となりました。
ご希望の方は事務局までお問合せ下さい。
(各席十五名・二時間三十分を予定)
- ◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
毎月第二・第四土曜日
山下純子先生
九月十二日(土)・二十六日(土) 午前十一時～

十月

- ◆ 財団賞授賞式助成金交付団体認定書授与式
十月五日(月)午前十時三十分～
- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
十月九日(金)午前十時～十二時
- ◆ 十月月釜 五人様茶会
日時 十月十一日(日)
- ◆ 処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
濃茶 表千家流 井川和彦
薄茶 武者小路千家 山本 亘
茶席 濃茶・薄茶・点心席
会費 五千元
入席時間ご案内(各席二時間十五分を予定)
- ◆ 第一席 A席・B席 九時
- ◆ 第二席 A席・B席 十時三十分

パンケーキ? ホットケーキ?

その昔、百貨店のレストランの定番といえばお子様ランチとホットケーキでした。焼きたてのホットケーキにバターを塗ってひとくち大に切り分けて、それに蜂蜜をかけると切り口に蜂蜜が染み込んで、頬張ると口中に甘さが広がりとても贅沢な気分になったものです。

家庭用のホットケーキミックスが販売されると、ホットケーキはお子様のおやつ的なイメージが強くなり、喫茶やレストランから姿を消してしまいました。

ところがここ数年カフェの定番メニューとして人気上昇中のパンケーキ。ホットケーキとは違うの? 外国ではフライパンで焼く小麦粉系のお菓子をパンケーキと呼ぶそうで、ホットケーキとは日本だけの呼称だそうです。

一般的には甘くて厚みのあるものがホットケーキ、薄くて甘味を押さえたものがパンケーキと呼ばれるようです。

でも、最近は写真のような厚くてふわふわのパンケーキが人気だそうで、余計ややこしくなってきました。しかしどちらにしてもバターと蜂蜜が至福の時を演出してくれます。



くにももの (19)

「花喰い鳥」の棗

正倉院御物にも見られる時絵の装飾技法は、平安時代より伝統の技に時代ごとの新しさを重ねて工芸美を完成させてきました。

大勢の客をもてなす大寄せの茶会では、季節にちなんだしつらいや取り合わせの道具から菓子にいたるまで氣遣われた一碗の茶が呈されます。亭主の心配りに感謝しながら客から道具の披露が所望され、侘に並列した華やかな時絵の棗や菓子器、炉縁、時には香合や風炉先屏風などの図柄や作者が話題になって一座の話が弾んでいきます。

漆地に金時絵、青貝の螺鈿細工、梨地仕上げと時絵の技法を重ねた小さな薄茶器の作者が、香川県漆芸界の重鎮、現役最年長作家だった藤岡研斎さんと紹介され、作品の出来栄が賞賛されるだけでなく、いつも穏やかで謙虚だったお人柄が語りあわれて、この春に、百六歳の天寿を全うされた漆芸家を偲びました。



地域から世界へー。わたしたちの現代サーカスが、ここから始まります。ぜひ、この機会に多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

■チケットのご案内

創作サーカスフェスティバル「SETORA・ピスト」
会場：「ないもの」特設会場(香川県香川町東上259番)
日時：10月11日 18時から、12日 12時/18時から
13日 19時30分から(全四回公演)
入場料(前売) 一般四千元・中高生二千五百円・小学生千円
チケットの予約は瀬戸内サーカスファクトリー公式HP
<http://www.setouchicircusfactory.com>
・財団でもお取り扱いしております。



二〇一五年六月二十七日、四国村で開催されたカミュー・ポアテル、ワークショップ成果発表には財団も助成させて頂きました。公演の後のインタビュー
(前列左からカミュー・ポアテル/田中美智子/金井圭介)

十一月

第三席 A席・B席 十一時十五分
第四席 A席・B席 十二時四十五分
月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
十月二十日(火)午前十時午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生
十月十日(土)・二十四日(土)午前十一時

◆ 十一月懸釜 北村美術館茶会

日時 十一月一日(日)・二日(月)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
席主 北村美術館 館長 木下收

茶席 濃茶・薄茶・点心席
会費 二万円

詳細は最終ページを参照

◆ 懷石講座 三友居 山本勝先生

十一月三日(火)午前十一時・午後三時

◆ 晴友会研修旅行

十一月六日(金)詳細は最終ページ参照

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

十一月十三日(金)午前十時・十二時

◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

十一月十七日(火)午前十時午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

十一月十四日(土)・二十八日(土)午前十一時

◆ 十一月月釜 五人様茶会

日時 十一月二十九日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

濃茶 武者小路千家 岡田和恵

薄茶 石州流讀岐清水派石州会 三野宗悦

点心 県産品の特製料理 永楽亭

会費・入席時間 十月五人様茶会と同様

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要
必要です。お申し込み、お問合わせは、

当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一十二

☎(087) 8269・3355

茶 華 道 ガ イ ド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

11/8 栗林公園月釜 席主：安部流洗心会四国支部
 初月亭 前売600円・当日700円 9:00~15:00

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)851-5330

10/25 江戸千家不白会茶会 席主：川崎恵雪
 中條文化振興財団 晴松亭 600円 9:00~15:00

表千家同門会香川県支部 ☎(087)845-4638

9/13 東讃教授者会・四季茶会 席主：藤本宗正
 中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

10/25 中讃春秋茶会 席主：脇宗水
 丸亀市生涯学習センター 600円 9:00~15:00

11/8 東讃教授者会・四季茶会 席主：西谷宗冬
 中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

9/27 松尾寺月釜 席主：山下教子
 松尾寺 500円 9:00~15:00

10/11 金刀比羅宮例大祭 奉祝奉賛茶会
 席主：田中美代子(武者小路官休庵)
 アクト琴平 200円 10:00~15:00

茶華道一流流久松会 ☎(087)881-1313

10/25 一茶流久松会茶と花会 席主：角陸一彰
 玉藻公園披露間 1,300円 9:30~15:00

茶道真千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

9/20 善琴分会 月釜 席主：稲毛宗敏
 樟蔭軒 500円 9:00~14:00

9/27 坂出分会 月釜 席主：坂出分会B班
 坂出労働福祉センター 500円 10:00~14:00

9/27 丸亀分会 月釜 席主：横田宗良
 生涯学習センター 500円 10:00~15:00

9/27 多度津分会 親月茶会 席主：多度津分会
 町民会館2Fホワイエ 300円 17:30~20:00

10/25 坂出分会 月釜 席主：綾宗博
 翠松閣 500円 10:00~14:00

11/1 多度津分会 芸術展茶会 席主：多度津分会
 総合福祉センター2F 500円 9:00~15:00

11/3 丸亀分会 文化の茶会 席主：塩崎宗貴
 生涯学習センター 500円 9:30~15:00

11/29 善琴分会 護国神社新嘗祭
 席主：善通寺教授者(御献茶 稲毛宗敏)
 護国神社 500円 10:00~15:00

茶道真千家淡交会高松支部 ☎(087)861-3136

<淡交会 月釜> 中野天満宮 天神会館
 前売600円・当日700円 9:00~15:00

9/6 席主：吉野宗倫
 10/4 席主：白井宗美
 11/1 席主：長尾宗里

12/13 青年部年末チャリティ茶会
 席主：淡交会青年部
 前売1,000円・当日1,100円 9:00~15:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)888-5311

9/13 栗林公園 月釜 席主：茶道石州流琴松会
 栗林公園初月亭 600円 9:00~15:00

11/8 創立記念茶会
 本席(横の間) 席主：岸宗源
 副席(松の間) 席主：茶道石州流琴松会
 玉藻公園 1,100円 9:00~15:00

三笑亭賣茶流高松支部 ☎(087)833-0347

10/4 三笑亭賣茶流煎茶会
 第1席席主：土居美智子
 第2席席主：金澤志保、里野絹子
 玉藻公園内披露間 1,100円 9:00~15:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

9/27 西徳寺月釜(東讃茶道懇話会) 席主：児玉宗秀社中
 池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

10/18 宗関公343年祭記念茶会
 席主：植田宗弘、金丸宗洋、木村宗崇、廣瀬宗幸
 岡崎宗美、三野宗栄
 玉藻公園披露間 1,100円 9:00~15:00

10/25 長尾静風会大茶会 席主：野口宗真
 長尾寺 1,200円 9:00~15:00

東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391

<月釜>池戸西徳寺 500円 9:00~15:30
 9/27 席主：石州流 児玉秀
 11/15 席主：官休庵流 小池公江

武者小路千家 石井妙喜 ☎(0875)25-0239

11/15 観音寺市文化協会茶会 席主：石井妙喜
 働く婦人の家 500円 9:30~15:00

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

<香川官休会月釜>無量寿院 600円 9:00~15:00
 9/6 席主：清洲保子
 11/1 席主：三好綾子

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室
 前売400円・当日500円 9:30~14:00
 9/20 席主：森本宗恵(裏千家 高畑宗裕社中)

10/18 席主：中野宗容(裏千家 松野宗敏社中)
 11/15 席主：小倉宗貴(裏千家 熊野宗翠社中)

造園協会 中西珍松園 ☎(087)881-2858

9/20~23 玉藻公園開園60周年記念 秋会記 作品体験と
 お茶席 席主：茶道石州流宗家 久保宗照
 そてつの間 13:00~

中津万象園お茶会実行委員会 ☎(0877)85-8860

10/3 十の三(とのさま)茶会 茶会参加者のみ
 現存最古の煎茶席「観潮楼」の室内見学
 2,200円(前売りチケット制、入園・入館料
 込、200名限定) 10:00~15:15

煎茶席 席主：安部流宗元 坂本糸 母屋
 薄茶席 席主：男性茶道集団「茶楽」観月台
 日本の唄 オペラ歌手：AURORA(アウローラ)
 庭園代笠亭芝生広場(雨天時：絵画館 ロビー)
 12:30~、14:30~(2回公演)

中條文化振興財団 ☎(087)826-3355

9/20 9月懸釜 時知らずの茶を楽しむ 25,000円
 濃茶席主：武者小路千家宗元後嗣 千宗屋宗匠
 薄茶席主：武者小路千家宗元教授 芳野宗春

10/11 10月月釜 五人様茶会 5,000円
 濃茶席主：表千家流 井川和彦
 薄茶席主：武者小路千家 山本 亘

11/1~2 11月懸釜 北村美術館茶会 20,000円
 席主 北村美術館 館長 木下收

11/29 11月月釜 五人様茶会 5,000円
 濃茶席主：武者小路千家 岡田和恵
 薄茶席主：石州流讃岐清水派石州会 三野宗悦

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。
 詳細は、最終ページ、財団行事予定をご覧ください。

イ ベ ン ト ガ イ ド

鎌田共済会郷土博物館 ☎(0877)46-2275

10/24 第6回公開講座「近代天文学のはじまりと大抵」
 講師：嘉数次人(大阪市立科学館) 2階講堂
 13:30~(先着40名、要事前申込、10/17締切)

かまどホール ☎(0877)46-2178

9/5~27 千田豊実 祖父展 祖父と孫の2人展
 遺されたもの 10:00~

10/3~25 朝日奈義廣展 透明水彩画
 自然へのまなざし 10:00~

11/7~29 速水史朗展 土の造型
 12/5~27 ステンダラス 大量俊子と「ら・新夢」教室展 10:00~

多度津町教育委員会教育課 ☎(0877)33-0700

9/22 ART SETOUCHI 2015 高見島 10:00~

サクラートたどつ(多度津町民会館) ☎(0877)33-3330

9/6 ほつとコンサート! vol.8 JAZZ CONCERT
 2Fホワイエ 14:00~

10/25 第9回 多度津フェスティバル 9:30~

11/1,3 第6回 街角コンサート〜音楽のつどい〜 9:00~

11/21 宝くじおしゃべり音楽館
 〜想い出のスクリーンミュージック〜 18:00~

11/29 カンペン デ ウルグアイ 14:00~

12/6 香美別邸 2015 15:30~

丸亀市文化観光課 ☎(0877)24-8822

8/29~9/6 HOTサングラプロジェクト 作品展覧会 未来の収穫祭2015
 丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー 9:30~

9/13 第7回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル
 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ 12:30~

10/15 五十嵐歩美&永見行楽コンサート in 丸亀城
 丸亀城大手の門 18:30~

10/25 丸亀城フェスタ2015 丸亀城内一円
 9:00~(一部有料行事有)

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

9/5 香川県文化協会西讃支部発表会
 普通寺市民会館 10:00~

9/19~27 うちわに描こう絵画展
 丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー 9:00~

11/1~3 芸術フェスタ丸亀2015
 丸亀市生涯学習センター3F大ホール 10:00~

<まるがめ文化芸術祭主催展覧会>丸亀市生涯学習センター
 10/10~18 前期展 絵画・写真・彫刻・工芸
 1Fギャラリー 9:00~

10/24~11/3 後期展 書・文芸展 1Fギャラリー 9:00~

11/2~3 生花展
 4F講座室1-2-4 小ホール・5F視聴室 9:00~

11/3 お茶会 2F大広間 10:00~

<まるがめ文化芸術祭2015主催公演(能楽の祭典)>
 第1部 第22回香川県能楽会合同謡曲会
 丸亀市民会館大ホール 9:30~

第2部 観世流 能「望月」古式
 丸亀市民会館大ホール 15:30~

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

~9/23 [企画展] マルティン・ガンパー
 100日で100脚の椅子 10:00~

[企画展] 猪熊弦一郎展 猫達 10:00~

[企画展] 猪熊弦一郎展 猫達 10:00~

第2.4日曜キュレーターズ・トーク 14:00~

27日クロージング・トーク「猫をえがく」
 2Fミュージアムホール 14:00~(先着170名)

~9/27 [常設展]猪熊弦一郎展 渡米と抽象表現 10:00~

9/5~6 [小・中学生向けワークショップ]風船と和紙でつくる
 旗子のランプ 2階造形スタジオ 10:00~(要申込)

9/19~21 [親子向けワークショップ]
 遊ぼう! 水彩絵具と土ねんど 10:00~

10/3~12/6 [企画展] 猪熊弦一郎展 みんなで伝える、
 好きになる 10:00~

会期中の日曜キュレーターズ・トーク 14:00~

10/19,20,11/11猪熊おしゃべりテーブル 14:00~

11/23 開館記念日 詳細未定

丸亀市緑歌総合文化館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

11/8 シンフォニックウインズKAGAWA
 第16回定期演奏会 大ホール 14:00~

11/20~22 第39回香川県高等学校演劇研究大会
 第32回香川県高等学校総合文化祭演劇部門大会
 大ホール 初日16:00~、2日目以降 9:30~

11/29 緑歌吹奏楽団 第17回定期演奏会
 大ホール 13:30~

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

9/13 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ
 第4回定期演奏会 大ホール 14:00~

9/14 松竹大歌舞伎 中村歌右衛門 改め 四代目 中村扇太郎
 襲名披露 大ホール 13:30~、18:00~

9/19 植松おさみの司会で歌うカラオケ大会
 大ホール 13:00~★

9/20 作詞家「たかたかし」の世界 大ホール 13:00~★
 第1部 たかたかし杯カラオケ選手権大会<決勝>
 第2部 たかたかしを歌う

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-6278

11/3~29 丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区建立
 30周年記念「全国の町並みパネル展」 9:30~

10/10~11/29 丸亀市合併10周年記念 京極家の家宝展 9:30~

10/10~11/29 讃岐のやきもの 源内焼の名品展 9:30~

あーとらんどギャラリー ☎(0877)24-0927

~9/6 2015様々な遊遊ーらんど・フェア展 10:00~

9/25~27 神戸アートマルシェ展
 神戸メリケンオリエンタルホテル12F 11:00~

10/4~18 綿引明浩展 10:00~

10/25~11/12 原博史展 10:00~

11/19~29 リトルクリスマス展 10:00~

ざやらしい風 ☎(0877)86-2112

10/21~25 絆な和びさび展 つりびな、タペストリー、小物
 バック等 約100点 10:00~

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

9/4~8 さわやかフォトクラブ12 写真展 9:00~

9/11~15 陶 三人展 9:00~

9/18~23 游友展 9:00~

9/25~29 山野書道教室作品展 9:00~

10/2~6 アトリエこころ福家世津子と仲間達展 9:00~

10/9~13 型絵染 河合素子展 9:00~

10/16~20 三上栄治展 9:00~

10/23~27 第一回マリノウェーブ・カルチャー水彩画講座
 作品展 9:00~

10/30~11/3 角フサ子 創作人形展 9:00~

11/6~10 武蔵野美術大学香川支部展 9:00~

11/13~17 勝賢瀬寛備前焼陶芸教室作品展 9:00~

11/20~12/1 第25回チャリティー展 9:00~

普通寺市教育委員会生涯学習課 ☎(0877)63-6328

10/13~18 小西嘉純 はがき絵展 美術館が所蔵する故
 小西嘉純画伯のはがき絵作品の中から金毘羅道
 中、マンマースケッチ等展示

普通寺市美術館 10:00~

10/23~11/22 第32回普通寺市民文化祭
 普通寺市民会館ほか

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002

～9/27 主：この男がジブリを支えた「近藤喜文展」
主催：近藤喜文展実行委員会 10:00～●
～9/27 アート・コレクション 県展のあゆみ～文化会館
に始まる20年～ 常設展示室4・5 9:00～●
9/18～11/23 古い道具と昔の暮らし 常設展示室1 9:00～●
10/6～12/25 アート・コレクション 20世紀の美術
常設展示室2 9:00～●
10/10～11/29 県展80周年記念展
＜瀬戸内海歴史民俗資料館＞
～9/13 暮らしの中の信仰
一折柄・守り札・魔除けの民俗 9:00～●
9/19～12/20 “里海”からのメッセージ
一海ごみと寄り物 9:00～●
10/10～2/28 西日本の背負い道具 9:00～●

アルファあなぶきホール ☎ (087)823-3131

9/27 文化庁優秀映画鑑賞推進事業 in 高松VI
「浪華悲歌」「稲妻」「華岡青洲の妻」
小ホール 11:00～●
10/10 英国女王陛下の近衛軍楽隊 大ホール 14:00～●
10/12 藤原歌劇公演 オペラ「愛の妙薬」
大ホール 16:30～●
10/31、11/1 郷土芸能フェスタ2015 小ホール 時間不定
12/1 郷土ヒーロー活動シリーズ!!
舞台「三匹のおっさん」 大ホール 13:30～●

高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520

10/17～12/20 高松市合併10周年記念
源平合戦屋島の戦い830周年記念
第69回企画展「検証! 屋島の戦い」9:00～●

菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502

～10/4 第24回文学展「没後99年 夏目漱石・漱石
山房の日々」4階企画展示室 9:00～●
9/1～10/4 ミニコレクション展「坊ちゃん」の文
学(予定) 3階研究閲覧室 9:00～●
＜文学展特別事業・行事・講演会＞
9/5～13 「古本まつり」御入場の方に古本5冊まで提供
(数に限りあり) 3階常設展示室 9:00～●
9/6 夏目漱石作品朗読会「坊ちゃん」
出演：NHK高松放送局アナウンサー・キャスター
3階視聴覚ホール 14:00～●(先着200人)
9/20 アニメ上映会「坊ちゃん」
3階視聴覚ホール 14:00～●(先着200人)
9/23 ②「漱石」行くと「ところ」の意義
一芥川に在るに於いて
講師：細川正義 (関西学院大学教授)
3階視聴覚ホール 13:30～●(先着200人)
9/27 ③「原作をこえる感動」映像化された「それから」
と「門」 講師：十河進 (映画コラムニスト)
3階視聴覚ホール 13:30～●(先着200人)
10/4 「音楽コンサート」演奏：高松市役所吹奏楽団
3階視聴覚ホール 11:00～●(先着200人)

＜各月の文芸講座＞

9/12 「菊池寛の世界～その周辺の作家たち」
講師：大西良生 (菊池寛研究家)
3階視聴覚ホール 13:30～●(先着200人)
10/3 「『西行物語』を読む(IV)」
講師：石川一 (奈良大学文学部教授)
3階第1集客室 13:30～●
11/7 「『記』の中に「草紙」の居る可能性を考える」
講師：富川光雄 (元高校教諭)
3階第1集客室 13:30～●

＜文学展記念講演会＞

11/14 「千の風から希望の木へ」 講師：新井満 (芥
川賞作家・作詞作曲家) 対談 新井満×菊池
寛樹 (菊池寛直孫、菊池寛記念館名誉館長)
サンポートホール高松第1小ホール 18:30～★

高松市中央図書館 ☎ (087)861-4501

9/13 「被爆ピアノコンサート」被爆ピアノによるコンサ
ート、朗読など 3階視聴覚ホール 14:00～●
11/3 高松市合併10周年記念
「第11回高松市子ども読書まつり」
講演会、お話し、遊びコーナー、読書感想文の展等
高松市牟礼町図書館 10:00～●

高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222

9/17、10/1、15、29、11/5
簡単な脳トレ! 立体折り紙でなにつくろ? 13:30～●
10/1、8、15、22、29
民俗学講座 大研修室 10:00～●
10/2、16 仏画の見方入門～絹や紙に描かれた仏の世界を見る
大研修室 13:30～●
＜市民大学2015＞ 多目的ホール
9/12 ①「源平内乱の展開と讃岐国屋島」 13:30～
②「香川県独立運動と中野武吉」 14:50～
9/26 ③「日常における記憶の不思議」 13:30～
④「シルクロード最大の謎「楼蘭」に迫る」 14:50～
10/3 ⑤「平家琵琶の調べ～屋島合戦から830年、
時を越えて～」 13:30～
⑥「死んだらどうなる?～現代の死生観と葬送儀礼～」
14:50～

栗林公園観光事務所 ☎ (087)833-7411

11/21～30 栗林公園 秋のライトアップ 21:00まで●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

9/21～23 第60回香川県国風小品盆栽会 秋季展 披露間
10/30 披露間オリジナルコンサート2015 披露間
11/1 屋島ライオンズクラブ茶会 披露間

ミューズホール ☎ (087)833-0013・0014

10/17 marasy piano live tour 2015 17:00～●

11/1 第25回 グレンツェンピアノコンクール

本選課題曲公開レッスン 13:00～●

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

9/6 0才からのコンサート2015
川島コミュニティセンター 14:00～●
9/20～23 パラダイス仏生山
ことでん瓦町～仏生山駅～仏生山町周辺
20日16:00～、その他11:00～●

＜サンポートホール高松＞

9/27 山形由美フルートリサイタル
第1小ホール 14:00～●
10/31 瀬戸フィル ティータイムコンサート ハロウィン
スペシャル 第2小ホール 13:00、16:00～●
＜高松国分寺ホール＞
9/19 ムーンナイトコンサート ロビー 18:30～●
9/23 紙ふうせんハートフルコンサート 14:00～●
9/26 言葉の先生に聞いてみよう! ロビー 10:00～●
9/27 観月コンサート ロビー 18:30～●
10/4 音の祭り & 国分寺マルシェ
高松国分寺ホール・玄關前広場 10:00～●
10/12 お料理先生に聞いてみよう! ロビー 10:00～●
11/14 国分寺落語会 ロビー 14:00～●
11/23 ホンヤミカコと金子みすゞの世界 14:00～●

高松市文化財課 ☎ (087)839-2660

9/13 ひょうげ祭り 14:00～●
香川町浅野集落研修センター～新池
田井の子ども神楽 六萬寺(牟礼町) 12:00～●
9/23 <「探究! たかまつ遺産 人・もの・地から高松の歴史と地域を考える」>
高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00～●
9/20 石清尾山古墳群(福山地区)の墳石塚古墳の調査成果一
調査の意義と今後の展望 一 波多野真(高松市文化財課)
ヤマト(王権中核部)からみた石清尾山古墳群
廣瀬寛(奈良文化財研究所主任研究員)
稲荷山北端1号墳 発掘現場見学会
集合場所・時間不定 ●
＜ふるさと探訪＞
9/27 「高松城外堀跡周辺を訪ねる」(予定)
琴電 築港駅前集合 9:30～●
10/25 「屋島城跡(浦生地区) 長崎山古墳を訪ねる」
(予定) 集合場所不定 9:30～●
11/22 「宇多津の社を訪ねる」(予定)
集合場所不定 9:30～●

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

9/1～6 第19回水墨画展 香川県水墨画会 9:30～●
9/8～13 暮らしの中の書作品展 桜葉書道会 9:30～●
9/15～20 楽しい模写折り(作品展) 日本折紙協会香川
支部おろりかKAGAWA 9:30～●
9/29～10/4 陶芸展 (長寿大学在学・OB作品)
陶芸13会 9:30～●
10/6～11 「サークル・フォー」写真展 9:30～●
10/13～18 第11回SIC写真展 9:30～●
10/20～25 水墨画・墨彩画展
NHK文化センター水墨画・墨彩画受講生 9:30～●
10/27～11/1 第39回農業共済書写コンクール優秀作品展
香川県農業共済組合 9:30～●
11/3～8 筆耕教室作品展 和みの書道教室 9:30～●
11/10～16 花燈ゆ巡回展 NHK高松放送局
14、15日ふれあいフェア2015 高松放送局会館の公開
わんわんと遊ぼう! 9:30～●
11/24～29 2015フォトさぬき写真展 9:30～●

かをり園 ☎ (087)821-5957

9/9～13 古今茶湯総合展 恒例となりました新茶茶道具五百
余点を一同に展示即売致します(大特価コーナー設置)
御坊町福壽寺2階 10:00～●

桜ショップ高松店 ☎ (087)831-8866

11/6～12 「村尾一哉 うつわ展」
茶陶から日常使いの器まで 10:00～●

ギャラリーen ☎ (087)851-3711

10/1～7 渡辺愛子 作陶展 10:00～●
10/10～17 立原俊貴 木版画展 10:00～●
11/11～18 川添日記 木漆展 10:00～●

珈琲倶楽部 ☎ (087)823-0160

9/3～15 秋の入口手廻り展 ストル・Bag、ベスト等 10:00～●
9/16～27 葉書絵・阿河弘志展 10:00～●
10/1～17 H and K ジュエリーアート展 10:00～●
10/18 波サノバ・カフェ (vol.7) フェアード
13:00～、15:30～(2回公演)●
10/20～31 タイヒロコ 秋々あみもの展 10:00～●
11/1～14 あったかぼうし展 10:00～●
11/18～29 ステンダグラス展 (仮題) 10:00～●

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

10/1～8 原登美枝のNYコレクションより～
アートのようなアンティークボタンを中心として食器、
シルバー、ガラス等の小物たち 10:00～●
10/14～18 ももたろ「生活骨董店」手もとにおいて毎日オシ
ヤレにしたい! 江戸ものや昭和もの 9:00～●
10/20～25 「遊牧民の手帳展」トルコ各地方から集められた貴重な
オールドキリムや、キリム雑貨、伝統刺繍を施したスザニ
やハンドメイドアクセサリーを多数 10:00～●
11/6～8 「三人展」組ひも、ジュエリー、レザーラフ、オブジェ
作家：藤村英代、山口和馬、山口聡 10:00～●
11/10～11 「手作り大好き作品展」縫う、編む、刺す等の
手仕事グループ展 9:00～●
11/13～15 「香川で活動するジュエリー作家6人展」
シルバー等を使ったリング等 10:00～●
11/17～22 「+mode THE Exhibition of Artful Felt & Jewelry」
香川在住のフェルト作家と陶器中心に活躍している
2人の金工作家のコラボレーション展 10:00～●

11/24～29 romantic Alameda 新作個展

「ステンレスワイヤー」が織りなすレースのよ
うなアクセサリ 10:00～●

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<2F市民ギャラリー>
9/5～30 企画展「第10回わが家のお宝展 えへもん・
おもしろいもん大集合!」 9:00～●
10/3、4 共催展「第19回土遊会 陶芸展」 9:00～●
10/12～18 共催展「第16回香南文化交流展」 9:00～●
10/24～12/6 企画展「名刀と装身具展 (仮称)」 9:00～●

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

～11/29 (常設) Memory in Shionoe
～写真でたどる塩江の記憶～ 9:00～●
9/8～10/12 (企画) 長野由美展 Egg in wonderland 9:00～●
10/20～25 賛館「花はどこへ行った」 9:00～●

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

9/11、10/9、11/13
古文書を読む会 (5)～(7) 江戸時代の和歌等
を読み解いて 講師：加藤 優 (鎌田共済会郷土博
物館・館長) 講座研修室 14:00～●教材費要
9/18～27 共催展「長月展」企画展示室 9:00～●
10/10～11/23 企画展「石の里のアーティストたち」～テーマ・
庵治石 Part14 芝生広場 9:00～●
10/11SWJOジャズコンサート
エントランスホール 14:00～●
10/24ワークショップ「庵治石で盆石アート」
講座研修室 10:00～●
10/10～11/23 企画展「石庭・瀬戸の島展」
企画展示室 9:00～●
10/17 美しき日本の歌～秋風にのせて～
エントランスホール 18:30～●
11/8 落語会 (仮) エントランスホール14:00～●
11/21 石の民俗資料館友の会工作教室～石のハンコを作ろう～
講座研修室 10:00～●(先着予約20名)

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000

10/4 瀬戸フィル室内楽コンサート 14:00～●
11/22 New Artists Recital Vol.19
土居里江ピアノリサイタル 14:00～●

東かがわ市ニューリズム協会 ☎ (087)26-1267

9/26 第3回相生ふるさと村まつり 平和保育園ふれ
あい運動会、通賢まつり、JR高徳線 80周年記念
にちなみ相生の80年前の資料展示他、アトラクシ
ョン、相生コミュニティセンター 8:30～●
10/15～18 世界の人形祭 世界70か国1370点の人形を展示。
世界遺産と料理の紹介。コンサートやダンスの上演。
マルシェなど 引田のまち並み、讃岐井筒屋敷
10:00～●(一部●)
10/17 福栄の里 空ちゃん田んぼ稲刈り 古代米弘
法大師堂を偲んだんばアートの稲刈り 東かがわ市
与田山JA福栄出張所より西に200m 9:00～●
11/6～8 フィールドミュージアムSA・NU・KI 2015
工芸作家20名による引田の古民家会場にした作品展
引田のまち並み、讃岐井筒屋敷 (一部●)

とらまるパレットランド ☎ (087)25-0055

9/9～13 舞台芸術振興事業・人形劇特別公演②
井上さし原作「父と暮せば」原爆投下後の広島を舞台
に、父と娘の感動の物語 人形劇団むすび座 (愛知)
人形劇場とらまる座 12～13日13:30～
9～11日は団体対象10:00～、14:00～●
10/30～11/1 とらまる人形劇アニメバル2015
西日本最大級の人形劇イベント
とらまる公園内各会場 10:00～●
11/22～23 舞台芸術振興事業・人形劇特別公演③
(美女と野獣) 個性的な人形たちが織りなす至高のファンタジードラマ
人形劇団いとみ座 人形劇場とらまる座13:30～●

坂出市建設経済産業課にぎわい室 ☎ (087)44-5015

9/20、10/18、11/15
悲運の帝 崇徳上皇のゆかりの地を訪ねる
坂出市観光案内所 9:30～●
9/25～29 香風園親月会 香風園 18:00～●
9/23 西行法師の道を歩く(月編)
坂出市観光案内所 18:00～●
10/24、11/7 さかいて三島物語 坂出市観光案内所 9:00～●
10/24と島・小島島、11/7横石島・岩島島
加茂山樋古古墳群と国宝神谷神社をめぐる
坂出市観光案内所 9:00～●
11/21 秋の道路道を歩く 坂出市観光案内所 9:00～●
11/22 城山道の道路をめぐり 坂出市観光案内所 9:00～●
11/28 トボの里 王様めぐり 坂出市観光案内所 9:00～●

坂出市教育委員会文化振興課 ☎ (087)44-5036

9/19～21 演劇大学nさかいで 勤労福祉センター、香風園、
市民ふれあい館 時間・料金は講座により異なる ●

坂出市民ホール ☎ (087)45-1505

9/6 第32回 坂出市民大学 13:00～●
10/4 ケセラフレンドコンサート 13:00～●
10/12 レザンコンクール～水木葉子による語り部たち～14:00～●
10/17～11/29 第57回 坂出市民芸術祭 催し物によって時間は異なる ●

坂出市民美術館 ☎ (087)45-7110

9/4～7 毎日児童生徒鑑賞展 9:00～●
9/17～27 てんざらばさ絵画展 9:00～●
9/17～27 墨遊会創立10周年記念水墨画展 9:00～●
10/10～11/1 現代文芸会香川展 9:00～●
11/7～8 現代とビジュアルフェスティバル 9:00～●
11/14、15 MOA児童作品展 9:00～●
11/19～23 香川県高等学校総合文化祭写真展 9:00～●
11/26～29 トールペイント作品展 9:00～●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

上記予定は変更する場合もあります。

「文化通心」第88号は12月1日発行です。次の期間(12月1日から2月末日)の情報を11月10日までにお知らせ下さい。 ☎ (087)828-2212

■財団のお知らせ

北村美術館茶会のご案内

実業家で茶人でもあった北村謹次郎の収集品を保存するために設立された美術館です。隣接する「四君子苑」は、北村氏の旧邸で、東山を借景にした昭和初期の数寄屋の傑作として有名です。

この度は、前回の懸釜以来四年振りに、木下収館長にお茶席をお願い出来ることとなり、ご案内の一文を頂戴いたしましたので、ご紹介します。

記

卯歳の春に参上し、新春を寿ぐ取り合わせでお茶を一服差し上げましたが、今回は、そぞろ夜寒を感じるころの取り合わせに加え、会に相応しい「勉強会」と企画中です。どうか楽しみにお待ちくださいませ。

日時 十一月一日(日)～二日(月)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

席主 北村美術館 館長 木下収

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 二万円(各席十名・約二時間三十分)

第一席 午前九時

第二席 午前九時五十分

第三席 午前十時四十分

第四席 午前十一時三十分

第五席 午後十二時二十分

第六席 午後一時十分

美術館に収蔵されている貴重なお道具をお持ち出しいただいての本格的なお茶席です。前回も木下館長の軽妙なお話で、和やかな中にも凛としたお茶席を体験させて頂きました。今回も季節を変えての取り合わせがとも楽しみなお茶席です。

まちかど漫遊帖(秋編)のご案内

茶の湯は敷居が高いと良く言われますが、もつと気軽に楽しんで頂きたいので、立礼席でお茶を差し上げながら、茶の湯の歴史や、茶席で恥をかかない客の作法など、楽しくレクチャーさせて頂きます。

また、財団の茶室、美藻庵・晴松亭をご案内いたします。本格的な茶室の不思議な空間を気軽に体験して頂けるチャンスです。ぜひこの機会にご参加下さい。

日時は、①十月二十四日

②十一月七日

③十二月十九日

いずれも土曜日の13時30分までに、財団までお越し下さい。要予約です。

参加料 千五百円(お菓子とお抹茶を含む)

まちかど漫遊帖十周年記念漫遊帖男衆・数寄もの茶会

11月23日(月曜祭日)に、高松城披雲閣の大書院において、華月流の細川康秀氏、菓匠芝山の鈴木康成氏のお二人と茶室の管理人、中條晴之が、コラボレーションのお茶席を華やかに演出させて頂きます。ぜひご参加下さい。

午前11時から一時間毎に四席

茶席料は一〇〇〇円です。

チケットのお申し込みは、財団まで。

茶会に引き続き、午後3時より蘇鉄の間に於いて、音楽と言葉「糸より姫 漫遊帖編」の公演があります。入場料は一五〇〇円ですが、茶会とのあわせチケットを二二〇〇円でご用意しております。

中條文化振興財団

晴友会・研修旅行のご案内

陽明文庫の「茶杓筆筒」を訪ねて

陽明文庫は、近衛家伝来の古文書などを保管している歴史資料保存施設です。かねてよりご要望の多かった「茶杓筆筒」全三十一本の拝見が、この度、名和文庫長のご好意で実現することとなりました。

また、「虎山荘」において、特製の点心とお抹茶を頂きます。虎山は近衛文麿の号です。当日はバスをチャーターしての日帰り旅行となります。

日時 十一月六日(金) 午前七時出発

参加費(会費) 一万五千元、定員三〇名

(一般) 一万八千元

■新講座のご案内

森本先生の書道教室10月開講

書道を習いたい。茶席の掛物を読めるようになりたい。というご希望にお応えして、喫茶室や大茶会でもお馴染みの、中国文化研究家の森本義人先生に教室をお頼みいたしました。書道の実技と古典の読み方など、わかりやすく教えて頂きます。書道はそれぞれの目的に応じて、お手本を選んで頂けるそうです。十月いよいよ開講です。

日時は、毎月第一、第三金曜日。月二回。午前十時から書道実習。十一時から古典の講座。という流れで実施します。

月謝は実習と講座のセットで五〇〇〇円(月二回)。講座だけのご参加の場合は三〇〇〇円です。

十月は、二日・十六日の予定です。ご希望の方は財団までお申し込み下さい。

編集後記

猛暑に台風と今年も厳しい夏でした。八月には「茶の湯をさらに楽しむ夏期講座」が行われました。暑さもセミの鳴き声もなんのその、多くの方々が参加してくださいました。物づくりのすばらしさを教えていただき感謝でした。コンピューターによる製造と違って、手間と時間をかけて、一つ一つ作らなければいけないものだからこそ、作り手の思いが込められていくのでしょうか。ものづくりの世界には様々な分野があり、最近では、若い人たちが「匠」を目指してがんばっている姿も報道されています。

伝統文化の世界にも関心を持っています。後継者が育っていくようにと願っています。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二

公益財団法人 中條文化振興財団編集部

TEL (087) 8266・3355

FAX (087) 8266・2212

info@chujo-zaidan.or.jp